



[著者]

清水ヒデキ 豪援隊長
弁護士・移民コンサルタント
(MARN:9900985)

「オーストラリアから日本を援
けよう」と豪援隊発足。16歳
で単身オーストラリアに留
学。その後、ボンド大学を卒
業し、QLD州弁護士資格取
得。長年に渡り、日本人なら
びに日系企業、世界各国の
クライアントのコンサルタント
業務に従事。



インデックス

- 今月のジョーク
- 今月の名言
- 今月の視点
- 北の挑戦(くに)から 2
- 今月のコピペ
- 今月のアナウンス



http://zoelangels.org/
Go オーストラリアグループ
は、Zoe's Angels
「Zoeの天使たち」を
支援しています。



弁護士 清水の

豪援隊かわら版

9月号

今月のジョーク (ジョーク集より)

「幸運」

記者「墜落した飛行機に乗り遅れて危機一髪、
死神の手から逃れたわけですね？」

男「そうです」

記者「まったく幸運ですな」

男「ええ。でも幸運はそればかりじゃありません」

記者「ほう？ほかに何か……」

男「家内は間に合ったんです」

今月の名言 (名言集より)

Love the life you live. Live the life
you love.

自分の生きる人生を愛せ。自分の愛する人生
を生きろ。

Bob Marley (ボブ・マーリー) 1845-1981
ジャマイカのレゲエミュージシャン

今月の視点

日本では暑さも和らいでくるころ、オーストラリアはその気候と共に熱い出来事が多かった9月でした。

オーストラリアはやはり熱い！

オーストラリアで今一番話題になっているのは、やはり同性結婚の是非を問う調査ではないでしょうか。

同性結婚を認めるべきというイエス派と結婚はあくまでも異性同士のすべきものだというノー派の激しい対立が繰り広げられています。今月号は、この対立に関してお話しいたしましょう。

首相歴任者たちの対立

敬虔なクリスチャンであるアボット前首相にとっては、宗教上認めていない同性同士の結婚は宗教上の理由にて認めるわけにはいきません。考えが古いと言われようが、宗教でダメと言うのですから、これ以上の理由はないということでしょう。これに対して、前首相のハワード氏も同調していることから、自由党の保守派がまだまだ党内で力を持っていることが伺えます。なぜ(?!?)ターブル首相が党内での意見の対立を気にして、政治的決断ができなかったのかという点もこれで説明がつかます。何せ、党内での対立よりも1億2500万ドルの予算を使って国民の意見を聞いた方がいい、と言う決定は現首相の党内基盤の脆さと、アボット前首相がいまだに保持する影響力を気にしてのことになります。

国民の声

国民の声も明らかに2つに割れていますが、ノーということが、どことなく人権侵害をするような気持ちになるということで、イエスにしているという人も多いようです。

SMSによる一方的な「イエス」キャンペーンや定期的な集会行動を繰り返していることに対して、あまりよく思っていないオーストラリア人も多いようですが、世論は間違いなく「イエス」を押す声の方が多い気がします。しかし、これも匿名の郵便による投票ですので、そうした場合にはそれぞれの人の本性が現れるかもしれません。世界的な流れは完全にイエスですが、それ以上に保守的な声も相変わらず強く聞こえてくるのはオーストラリアだけでしょうか。。。

半径5メートルの声

半径5メートルの調査では、イエス側圧倒的有利かと思いましたが、結構五分五分の感じです。前述したように、予想以上にオーストラリア人はまだまだ保守的であると言えると思います。最終的には認めていく方向に進むと思いますが、他の国ほど熱烈歓迎というほどでもないようです。

北の挑戦(くに)から。。。 その2

父さん、調子はどうですか？最近、少し静かにしていたら、まるで嵐の前の静けさだと言われてしまいました。僕には、そんなつもりも何もなく、なぜか皆、僕に対してつらく当たってきます。。。

僕はこの前、やたらとアメリカのトランプおじさんの肩を持つオーストラリアとかいう国に手紙を送ることにしました。僕の話もきちんと聞いてほしいということを伝えたつもりだったのですが、なぜか理解してもらえません。しまいには、ジュリアとかいうおばさんがやたらと仲を取り持つから、話だけでも聞いてほしいと、僕に会いに来ようとしています。僕は、すでに結婚もしているのですが、どのような仲を取り持つつもりなのか、僕にはよくわからない、そんなモヤモヤとした日が続いている今日この頃です。。。

注:この話は全てフィクションです。



今月のコピペ - ボスとリーダー



ボスは部下を追い立てる
リーダーは人を導く

ボスは権威に頼る
リーダーは志・善意に頼る

ボスは恐怖を吹き込む
リーダーは熱意を吹き込む

ボスは私と言う
リーダーはわれわれという

ボスは時間通りに来いと言う
リーダーは時間前にやってくる

ボスは失敗の責任をおわせる
リーダーは黙って失敗を処理する

ボスはやり方を胸に秘める
リーダーはやり方を教える



ボスは仕事を苦役に変える
リーダーは仕事をゲームに変える

ボスはやれと言う
リーダーはやろうと言う



今月のアナウンス



この度、「清水国際法律事務所」から「フェニックス法律事務所」へ事業名を変更することといたしました。

日本人クライアントの方々のお手伝いできればという思いで始めた清水国際法律事務所でしたが、いつの頃からか日系という枠を超え、いろいろなクライアントからの仕事を受けるようになりました。現在では、日系以外のクライアントが大半となり、おかげさまで地元メディアからもマルチリンガル法律事務所として度々取り上げられるようになりました。

そんな中、思ってみない壁にぶち当たりました。清水国際法律事務所は英語で Shimizu Kokusai Law Office としておりますが、日本人以外の人にとっては発音し難く、覚え難く、スペリングも難しいのです。スタッフが事務所の名前を説明するところから入るのがしばしばあり、そんな姿を見るたびに何とかせねば！と思いはじめることとなりました。

事業名を変更するにあたり、西洋にも東洋にも通じる名前は何か？と思いを巡らせ、いきついたのが Phoenix (フェニックス) でした。フェニックス (= 不死鳥、鳳凰) は、西洋、東洋どちらの文化でも存在し、繁栄、至福そして永世などを表します。それは、まさに清水国際法律事務所がクライアントに願ってきたことであり、そのお手伝いをするシンボルとしてフェニックスはぴったりだと確信しました。

これからは、フェニックス法律事務所として更に邁進していく所存でありますので、皆様、今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。



ゴールドコースト事務所

Suite 222, Level 2, Watermark Hotel & Spa
3032 Surfers Paradise Blvd, Surfers Paradise QLD 4217

ブリスベン事務所

Level 5, 262 Adelaide St, Brisbane QLD 4000

E: info@goaustralia-visa.com

<電話でのお問合せ>

オーストラリアから: 07-5570-4542 (月~金 9:00-17:00)
日本から: 03-4283-8484 (日本時間 月~金 8:00-16:00)

www.goaustralia-visa.com